

悠紀齋田写真集1

この悠紀齋田写真は悠紀の里サポート会、つるや呉服店のご厚意によるものです。

大正4年の大嘗祭悠紀齋田は次のような日程で行われた。

- 大正3年3月7日 悠紀齋田示達式（碧海郡六ツ美村下中島字上丸ノ内の4反歩）
- 大正3年4月11日 「昭憲皇太后」が崩御され大嘗祭は1年延期となる。
- 大正4年4月22日 大嘗祭悠紀齋田祓式（悠紀齋田）
- 大正4年4月23日 播種式（悠紀齋田）
- 大正4年6月5日 悠紀齋田御田植祭（悠紀齋田）
- 大正4年8月15日 抜穂式齋場地鎮祭（悠紀齋田齋場予定地）
- 大正4年9月19日 抜穂前一日大祓の儀（矢作川大聖寺磧）
- 大正4年9月20日 悠紀齋田抜穂式（悠紀齋田齋場）
- 大正4年10月15日 供納米点検式（八幡社）
- 大正4年10月16日 齋田米供納式（京都御所）
- 大正4年11月14日 大嘗祭（大嘗宮：仙洞御所）

大嘗祭悠紀齋田の大正5年以降の行事（悠紀齋田奉耕者や有志によりお田植え実施）

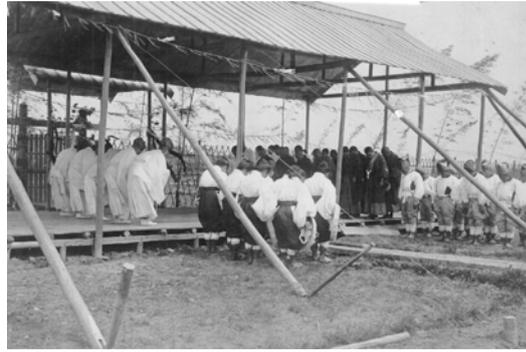
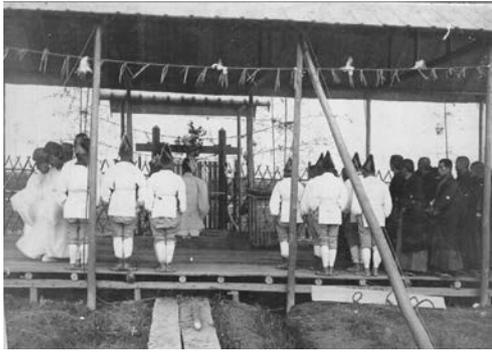
- 大正14年6月 悠紀齋田10周年記念お田植祭（記念植樹：オガタマノキ）
- 昭和4年11月25日 高松宮殿下御視察（悠紀齋田、農業補修学校）
- 戦時中 六ツ美南部小学校の先生や児童により実習田として継続
- 戦後 悠紀齋田関係者の有志の方で、お田植まつりを継続
- 昭和40年6月6日 悠紀齋田50周年記念お田植祭
- 昭和41年3月10日 大嘗祭悠紀齋田が岡崎市無形民俗文化財に指定
- 昭和47年4月 六ツ美地区総代会が中心となり保存会を設立し、体質強化を図る
- 平成7年6月4日 悠紀齋田80周年記念お田植まつりを実施（記念植樹：オガタマノキ）
主基齋田保存会と交流調印式執り行う（以降相互の交流開始）
- 平成17年5月28日 悠紀齋田90周年として愛・地球博愛知万博でお田植えまつりを披露
- 平成20年2月17日 愛知県民俗芸能大会でお田植えまつりを披露
- 平成18年～26年 皇族のご来駕要請の宮内庁訪問
第1回～第6回（岡崎市長・愛知県議会議員・悠紀齋田保存会員）
- 平成24年4月26日 六ツ美悠紀齋田100周年記念事業実行委員会発足
- 平成26年6月1日 六ツ美悠紀齋田99周年お田植まつり
- 平成27年6月7日 六ツ美悠紀齋田100周年お田植まつり

■本田耕作 1915年



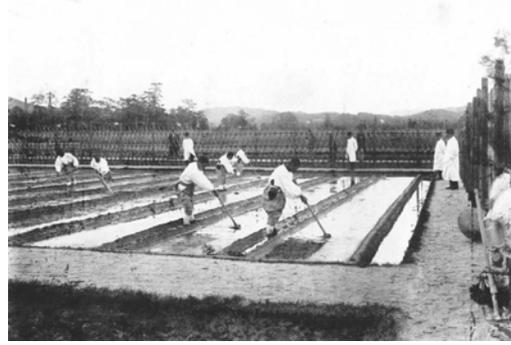
本田耕作

■播種式 1915-04-23



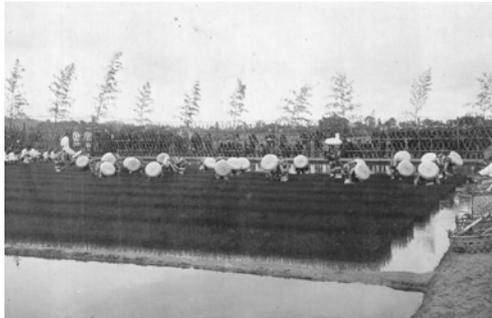
19150423 播種式

■苗代作成 1915年



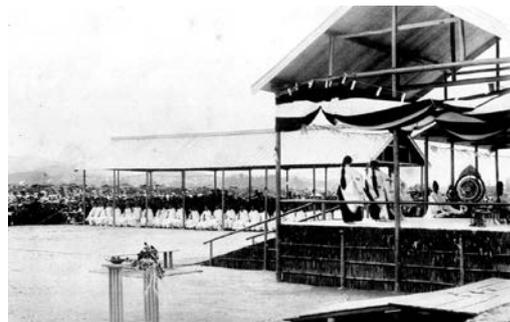
苗代

■苗取り 1915年

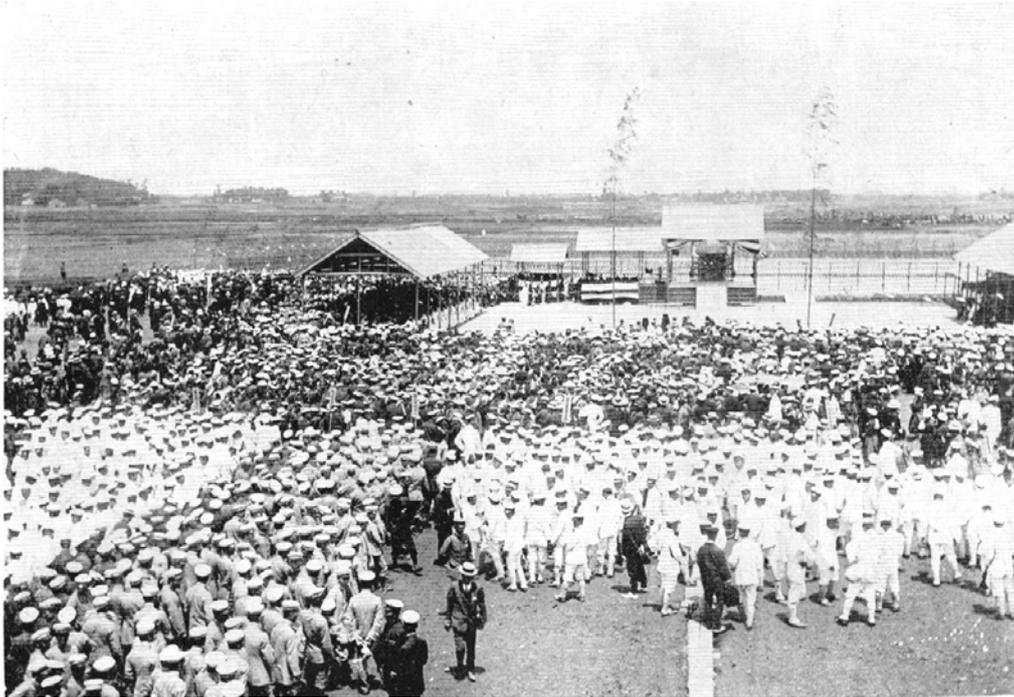


19150605 苗取

■御田植え式 1915-06-05

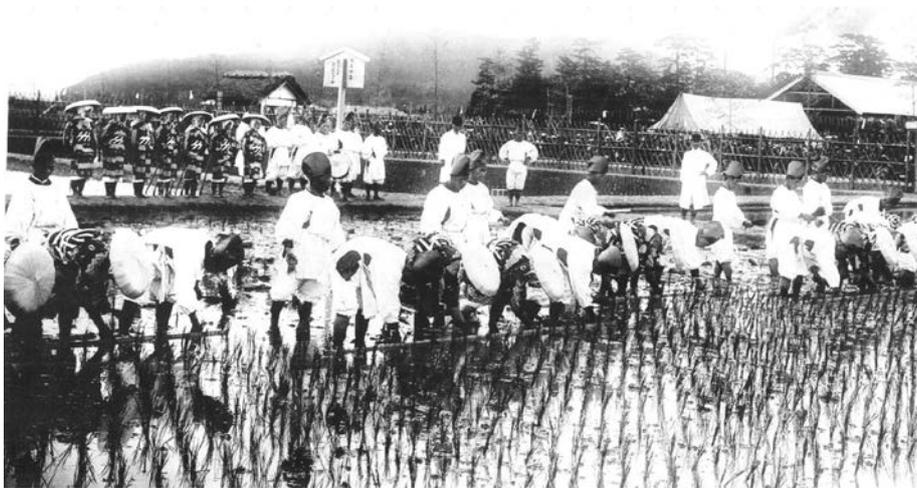


19150605 御田植え式



19150605 御田植え式

■御田植え 1915-06-05



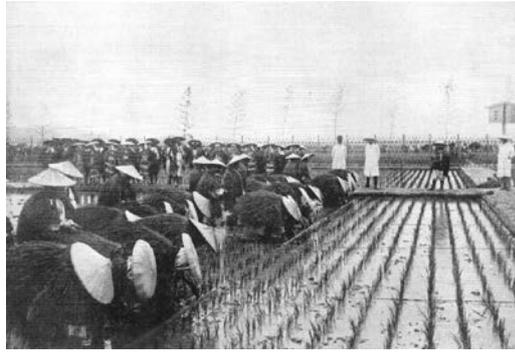
19150605 御田植え

■御田植え踊り 1915-06-05

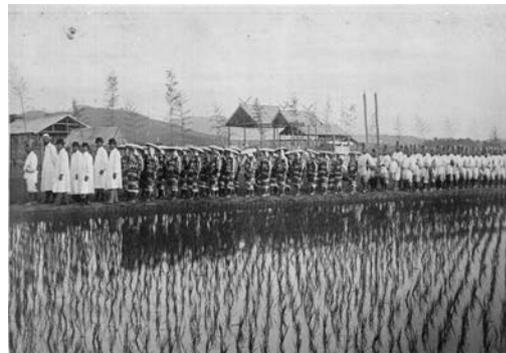
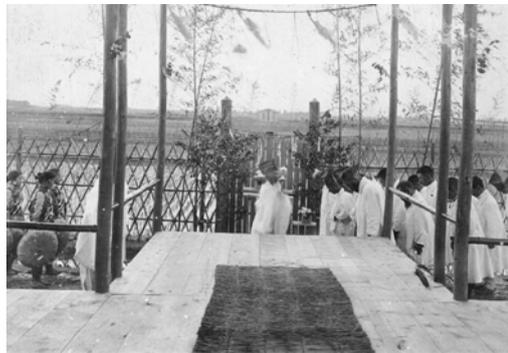


19150605 御田植え踊り

■御田植え 1915-06-06

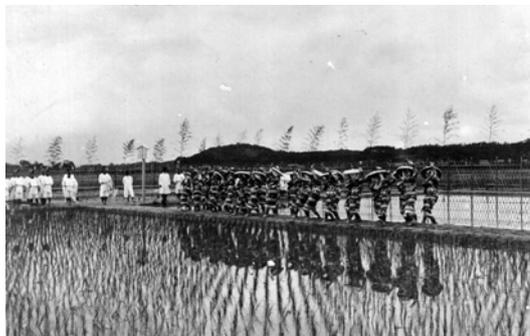


19150606 御田植え



19150606 御田植え

■御田植え踊り 1915-06-06



19150606 御田植え踊り

■草取り 1915年



草取り

■拔穂式 1915-09-20



19150920 拔穂式

■脱穀 1915年



脱穀

■供納式 1915-10-16



19151016 供納式

■大嘗祭 1915-11-14



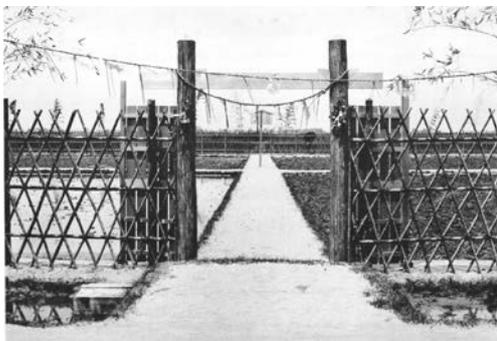
19151114 大嘗祭

■奉耕者 1915年



奉耕者

■斎田風景 1915年



斎田風景



斎田風景

■高橋用水



高橋用水

■高松宮殿下視察 1929-11-25



19291125 高松宮視察

■悠紀斎田80周年 1995-06-04



19950604 80周年

■悠紀斎田2011年



2011年

■悠紀斎田2012年



2012年

■悠紀斎田2014年



2014年

■悠紀斎田100周年 2015-06-07



20150607 100周年





20150607 100周年



【繪服】

天皇が即位する時、その儀式となる大嘗祭で着用する麻の服のこと。衣には鹿服(あらたえ)と繪服(にぎたえ)の二つがあり、繪服は絹布、鹿服は麻布。麻布を作るため、畑で大麻を栽培し、それを織って鹿服を作り、皇居まで運ぶという一連の作業を、古来より三木家が担ってきたのである。

【播種】

播種(はしゅ)とは、植物の種子(種<たね>)を播く(蒔く、撒く、まく)こと、つまり種まきである。

【千歯扱き】

千歯扱き(せんばこき)もしくは千歯(せんば)は、元禄期に和泉国の大工村(現在の大阪府高石市高師浜の一部)で考案された日本の古式の脱穀用農具。木の台の上から鉄製、もしくは竹製の櫛状の歯が水平に突き出した形をしている。稲扱きと麦扱きに分かれる。

【唐箕】

唐箕(とうみ)とは、風力を起して穀物を選別するための農具。収穫した穀物を脱穀した後、籾殻や藁屑を風によって選別するために用いられる。

【筵】

筵(むしろ)とは、藁(わら)やイグサなどの草で編んだ簡素な敷物。菰(こも)とも呼ばれる。代表的な製品に「ござ(莫蔭)」がある。